

わが家のバリアフリーを考える

家族みんなが安心して暮らせる住まいを

バリアフリーとは、「障害物がない」という意味です。障害物といっても床の段差ばかりではありません。家族全員が安心して暮らせる家造りを考えましょう。

バリアフリーの家とは、お年寄りだけでなく家族全員が安心して暮らせる家のことです

バリアフリーというと、年を取ってから必要なもの、というイメージをお持ちの人も多いと思いますが、バリアとは「障害となるもの」という意味で、床の段差だけではなく、滑ってけがをしやすい床、開け閉めにくい窓やドア、危険な収納、健康を害する恐れのある部屋の温度差、車いすで使いにくいキッチンや洗面台なども含まれます。

バリアフリーな家とは、お年寄りばかりではなく、赤ちゃんや妊婦、車いす使用者まで、家族全員が安全に快適に暮らせる家のこと。意外な所に危険が潜んでいることがありますので、まずはわが家の安全をチェックしてみましょう。

こんな家は危ない！小さな段差、高い位置にある収納、寒い浴室

家庭内事故という言葉をご存じでしょうか。言葉の通り家の中で起きる事故のことで、厚生労働省の統計によれば、死者数は年間一万二八七三人（二〇〇九年）に上ります。その中で特に目立つのが「転落」と「転倒」です。事例を見ると階段や脚立からの転落、段差につまづいての転倒が多く、死亡事故も発生しています。

転落や転倒の原因になりやすいのは、手すりのない階段、急勾配の階段、敷居など二〜三cm程度

の小さな床の段差です。また高い位置にある収納例えばつり戸棚や天袋に使用頻度の高いものを収納しておく、出し入れのたびにいすや脚立に乗る必要がありますので、転落の危険性が高まります。年を取ると二つ以上のことを同時に行なうことが困難になるため、いすや脚立の上でバランスを取りながら物を出し入れするという行為は、事故の危険性が非常に高まるのです。

最近では温度のバリアフリーという言葉も聞かれるようになりました。温度のバリアとは、家の部屋ごとの温度差のことです。リビングは暖かいのに浴室がとても寒いという状況があると、人によっては「ヒートショック」を起こすことがあります。

ヒートショックとは、室温の急激な変化によって脈拍や血圧が突発的に上昇してしまうことで、高血圧の人やお年寄りは命に関わることもあります。真冬に暖かいリビング↓寒い浴室↓熱いお湯につかる↓寒い脱衣室というような行動はヒートショックを起こしやすく、他にも暖かいベッドの中↓寒いトイレに行く、というような行動で起きることもあります。ヒートショックは年々増加していて、厚生労働省は真冬の寒い浴室に注意するよう警告しています。

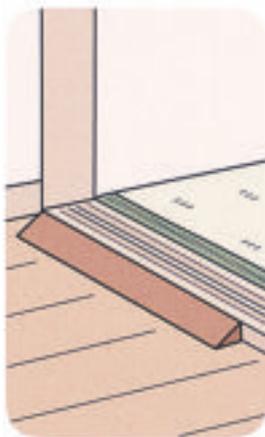
基本のバリアフリーを押さえた安全な家を目指しましょう

バリアフリー対策はまだ大丈夫、という言葉をよく聞きます。しかし、事故は小さな子どもからお年寄りまで、満遍なく起きています。家族全員が安全に暮らすために、なるべく早い段階で対策を行ない、いざというときに困らないよう下準備をしておきましょう。



▼基本一 床の段差をなくす

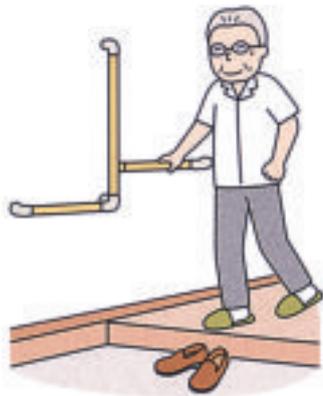
床の段差解消は、年齢に関係なく家族全員が安全に暮らすために最低限必要です。床のフローリング工事をするときに段差解消も一緒にやると効果的です。段差の高さに合わせてミニスロープを取り付けるだけなら自分でもできます。この場合は、動かないようしっかりと固定しておきましょう。



敷居の段差を解消するミニスロープ。ホームセンターで1,000円ほどから

▼基本二 段差や、体勢を変える場所には手すりを取り付ける

階段や玄関など、上り下りが必要な場所には手すりを取り付けましょう。浴室やトイレなど、立ったり座ったり体勢を変える場所にも手すりを忘れずに。浴室で滑って思わずタオル掛けにつかまったり、トイレで紙巻き器に体重をかけて立ち上がったりと、思わぬ大事故につながります。



階段や玄関など、段差がある所には手すりを取り付ける

▼基本三 ドアを引き戸にする

ドアを引き戸にしておくと、お年寄りや車いすの人にも開閉が楽にできます。開きドアは体を大きくひねる必要がありますが、引き戸ならそのままでの立ち位置で体をひねる必要がありません。開きドアは開口幅を広く取ろうとすると、それだけ周辺に広い面積が必要になりますが、引き戸ならその必要はないわけです。



引き戸は大開口でも開閉しやすく、つえや車いすでの移動も楽

▼基本四 浴室やキッチン、洗面所を座つても使える仕様に

キッチンや洗面台の足元は足が中に入る仕様にしておけば、車いすでも使いやすく、足腰が弱ったときや疲れたときにいすに座って楽に作業ができます。最近ではベンチ付のシステムバスもあります。座らせて体を洗えるので、高齢者はもちろん、小さい子どもにも便利。介護がしやすくなるなど、家族にも楽な水回りを考えてみましょう。



広めの浴室にベンチがあれば、親子で入っても介護のときでも身動きしやすい

▼基本五 家の中の温度差をなくす

ヒートショックの原因となる家の中の温度差をなくすためには、家全体の断熱性能を上げるのが近道です。夏に二階が暑い家は屋根裏に断熱材を入れる、冬に一階が寒い家は床下に断熱材を入れる。両方一度に性能を上げるには、内窓の取り付けや窓ガラスを耐熱ガラスに交換するなど、窓の断熱性能を上げるリフォームが効果的です。浴室と脱衣室には暖房器具を付けておくといいでしょ。

先々を考えた間取りを考えることが大切

バリアフリーには住宅設備の工夫だけではなく、間取りを見直すことも必要です。例えば、年齢を重ねるにつれてトイレの回数が増え、夜中に行くことも多くなりますから、夜間でも安心してトイレに行けるように、寝室からトイレまでの道のりをできるだけ短くスムーズにしておくなど、家事やメンテナンスが楽な家であることも大切です。家族みんなが長く安全に暮らしていけるよう、バリアフリーな家を考えてください。



住宅リフォームコンサルタント・住宅リフォームガイド
一級建築士事務所Office Yuu 代表 YUU (本名:尾間 紫)

1級建築士、(公社)日本インテリアデザイナー協会正会員。住まいのリフォームコンクール優秀賞受賞。「家は生活を変える、人生を変える」を信条に、新しい暮らしをつくる「リライフのためのリフォーム」を提唱。現在テレビやラジオ、新聞連載などを通し、住まいづくりのスペシャリストとして各方面で活動している。

■近著『リフォームはこうしてやりなさい』ダイヤモンド社刊

■業者選びからプランまで、リフォームのノウハウを「リフォームのホント・裏話」としてWebで公開中。

<http://www.ne.jp/asahi/net/rehome>



7月25日(金)
大浜みやこかぼちゃ初セリ
8月4日(月)
サッポロスイカ初セリ

大浜みやこ15,000円増の60,000円！ サッポロスイカは秀品3L・2玉10,000円



手稲山口の特産品である「大浜みやこかぼちゃ」と「サッポロスイカ」の初セリが中央卸売市場で行なわれ、大浜みやこかぼちゃ秀品5玉入り1箱(10kg)が60,000円、サッポロスイカ秀品3L・2玉が10,000円の最高値で取引されました。



▲「みやこっ酎」や「すいかワイン」のPRも行ないました！



6月の長雨等、天候不順の影響によりどちらも出荷の遅れが心配されていましたが、生産者の努力により今年も平常並みの出来となり、特に大浜みやこかぼちゃは玉が大きく甘みも強い出来となったことから、1kg当たりの平均価格も前年より96円高い551円となりました。どちらも、9月中旬まで収穫作業が行なわれる予定です。



平成26年7月14日(月)
酪農畜産部会

珍しい展示品の数々を視察

酪農畜産部会(高嶋昌明部長)では、部員18名が参加し、「第33回国際農業機械展 in 帯広」への視察研修会を実施致しました。日差しも強く大変暑い1日となりましたが、様々な国の最新のトラクターや機械の展示品を熱心に見ながら部員同士の親睦を深めました。

(神田特派員)



▲現地では「フードパレーとかち食彩祭」が開催されており、ビールを飲みながら楽しみました。



8月1日(金)
役員OB会

思い出話が楽しいひと時を演出

札幌市農協役員OB会では、会員28名と役職員12名が出席し、札幌全日空ホテルにて第15回定期総会を開催致しました。橋場善光会長の開会挨拶に始まり、前年度の事業報告や収支決算などが事務局から詳細に説明された後、提案された議案は満場一致で承認されました。その後の懇親会では、久しぶりに会う顔ぶれも揃って、それぞれ思い出話に花を咲かせて楽しいひと時を過ごし、またの再会を誓い散会しました。



▲鉄の街、室蘭で生まれたボルタは、ボルトとナットを半田付けして作る人形。



▲ムックリ製作。竹を削るのも演奏にもコツがいります。



6月24日(火)
JAさっぽろ女性部 本部役員

いにしえと現代の文化に触れて

女性部本部役員は、第2回役員会を兼ねた現地研修会を開催しました。本部役員21名が参加した現地研修会では、白老「ポロトコタン」にて、アイヌ民族の伝統楽器である「ムックリ」の製作を、室蘭にて、ボルトやナットを使った工芸品「ボルタ」の製作を体験。ハードスケジュールではありましたが、一日の中で時代を超えた二つの文化に触れ、充実した研修会となりました。



7月8日(火)～10日(木)
女性部豊平支部

匡巻の大自然！利尻・礼文を巡る旅

女性部豊平支部(中向道子支部長)では、部員19名参加のもと利尻島・礼文島への研修旅行を実施致しました。映画「北のカナリアたち」の舞台にもなった利尻島・礼文島で札幌市内ではなかなか見ることの出来ない雄大な自然の数々を巡り、とても充実した旅行となりました。長時間の移動にも、部員さんたちの笑顔が絶えることはなく、たくさんのお土産を手は無事帰路につきました。(尾張特派員)

〈このたびの土砂崩れで被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます〉





7月23日(水)～25日(金)
篠路支店年金友の会

第2回パークゴルフ大会は、湯治で心身ともリフレッシュ!

篠路支店年金友の会(中西俊一会長)では、会員16名が参加し、「秩父別温泉ゆう&ゆ」にて第2回パークゴルフ大会を兼ねた温泉湯治旅行を実施致しました。初日は、ちっぴべつパークゴルフ場にて腕慣らしし、翌朝は雨竜町にてパークゴルフ大会を開催。大自然のなか十分にプレーを堪能した後は、国稀酒造や国指定重要文化財・旧商家丸一本問屋を見学し、表彰式を兼ねた夜の宴会ではカラオケとパークの話が尽きない思い出深い夜となりました。(北村特派員)



優勝 永井 保様
準優勝 亀村 静枝様

▲復路ではさくらんぼ狩りを行ない、肉厚の甘〜いさくらんぼをお腹いっぱい食べました!



7月1日(火)～3日(木)
厚別年金友の会

知床クルーズで世界遺産に触れて

厚別年金友の会(高橋光雄会長)では、会員18名の参加により、阿寒・知床方面への親睦旅行を実施致しました。1日目は紫竹ガーデンで花を散策。2日目は摩周湖からのスタートで、知床クルーズで世界遺産の自然を堪能し、宿泊先のウトロ温泉での夜は豪華なバイキングに大満足でした。バスの中では、ガイドさんのトークで盛り上がり、全く疲れを感じず和やかな雰囲気の中全員元気に帰路に着くことができました。(谷本特派員)



7月25日(金)
資産管理部会篠路支部・青色申告会篠路支部

余市ニッカウヰスキー蒸留所見学と特大ニシンの炭火焼を堪能

篠路支部の資産管理部会(鶴見一雄支部長)と青色申告会(永井健支部長)では、合同現地研修会を会員19名参加のもと開催しました。余市のニッカウヰスキー蒸留所は、秋から放送されるNHK連続テレビ小説「マッサン」の舞台。窓を多く使った和洋折衷の旧竹鶴邸が工場内に復元されており、ガイドからの説明に参加者は興味深く聞き入っていました。昼食は特大ニシン定食を堪能し、小樽市総合博物館を見学した後はかま栄と南樽市場へ。たくさんのお土産を手に帰りました。(宮口特派員)



▲創業者竹鶴政孝・リタ夫妻の住宅である旧竹鶴邸。



7月29日(火)

そ菜部会清田支部

生産量・品質の向上を目指して圃場を視察



▲テレビ局の取材も同行しました。

今回は、松本支部長の圃場を皮切りに、清田区有明、南区常盤の全8ヶ所を視察。同じ作物を作っている、それぞれの圃場には個性があり、播種の間隔、使用している肥料、ハウス等施設や機械への工夫、空調の仕方等、互いにヒントを得られた充実した研修となりました。



そ菜部会清田支部（松本吉正支部長）では、圃場視察研修を行いました。同研修は、地元特産物であるホウレンソウの生産量・品質の向上を目指して部会員の圃場を視察するもので、同支部の恒例行事として過去に行っていたものを平成24年度から再開しています。



▶管理機を改良して収穫機に。



清田地区で生産されているホウレンソウは、昭和55年から統一商品名として「ポーラスター」と名づけ、やわらかく甘みのある品質を生かしてブランドを確立してきました。同支部では、このホウレンソウを柱に、学校給食や区のイベントなどへ生産物を提供するなど、地域と密着した新しい農業を意欲的に実践しています。

虹のひろば

JAさっぽろの様々な部会活動の様子をご紹介します



女性部 平岸支部

元気いっぱい!74名のりんご娘。



りんご生産が盛んだった平岸地区には、今でも環状通りにリンゴ並木が残り、維持管理を平岸青壮年部が中心となり行なっています。女性部員の中にも経験者が多く、作業のお手伝いに汗を流しています。



部会活動は春の役員会で相談して決定します。手作りの日帰り研修旅行をはじめ、手芸講習会や秋の一泊研修旅行など、様々な行事を通じて部員同士の親交を図っており、女性の集いの演芸発表に向けて春先から月1回程度支店へ集まり、踊りの練習を行なっています。





「暮らしに役立つ勉強会」 発寒支店で開催

～相続・遺言問題を考えましょう～

7月15日（火）、発寒地区センターにおいて、発寒支店の主催により組合員20名にご参加いただき「暮らしに役立つ勉強会」を開催致しました。

平成27年からの相続税大改正を控え、節税や円滑な相続について本店相談部の職員が実例を交え解説し、出席した組合員の皆さんは熱心に耳を傾けておられました。また、贈与の仕方や遺言書の取り扱いについて等様々な質問がありましたが、その都度質問の受け答えを行なう事により談話形式の和んだ研修会となりました。



— 「暮らしに役立つ勉強会」の内容を以下の通り一部掲載致します —

《 現代相続事情 》

I 相続とは何か、「相続」の意味するところ

1. 法律では、財産の継承・分配のことしか定めていません（法定相続分）
 - ア. 相続の「相」とは、その家に備わっている「家風や徳」、「伝統」、「家の信用」などであり、これを次世代につないでいくことが相続であると考えます。
 - イ. 相続とは、実物財産を分割継承するだけでなく、その家に備わっている大切な伝統を継承することが大事だと考えます。
2. 自身の相続で考慮・配慮すべきこと
 - ア. 我が家の跡取り、後継中心者をどの子供、孫にするかの決定。
 - イ. 所有財産を現時点で評価、配分を検討し相続税を把握する。
 - ウ. 配偶者が経済的に安定した老後生活を送れるよう配慮する。
3. 相続対策の順序
 - ア. 円滑に相続する
相続人全員が納得し平穩に相続を済ますことを第一に考える。
 - イ. 納税資金の確保
納税資金の準備を考える（延納、物納は制度の仕組みが複雑）。
 - ウ. 節税対策
近年の税制改正で、多様な贈与の非課税制度が新設されています。ご家族の状況に合わせ早めの財産移転も考えましょう。

II なぜ相続争いが起きるのか

1. 自分（親）の考えを、後継者や相続人へ伝えていない。
2. 法律・社会的に個人の権利が守られている（法定相続）。
3. 「遺留分権利」の主張が顕著になった。
4. 不動産ではなく現・預金のみを相続を望む相続人が増えている。
5. 兄弟姉妹間の経済事情。 — 「貧すれば鈍する」

III 相続を円満・確実に実行する為の対策

1. 遺言書・エンディングノートなどで自分の考え、希望をはっきりと示す
→想いを伝える「付言書」を上手に活用する。
2. 生前贈与を積極的に実施し、相続財産を減少させる
→ただし、相続税の納税を考え贈与する事が大切です。
3. 生前贈与の記録を確実に残す
→あわせて、贈与契約書を確実に作成して保存する。
4. 相続人との家族会議、個別相談を通じ個々人の考え方を聞いておく

IV 遺言書を遺す

1. 遺言書は、必ず「公正証書」で作成する
「自筆遺言書」は、費用もかからず簡単に作成する事ができますが、民法に定められた通りに作成しないと遺言としては認められません。また、開封前に家庭裁判所の「検認」を受ける必要があります。
2. 遺言書で出来ること

ア. 相続財産の分割指定	イ. 遺言執行人の指定
ウ. 祭祀主権の指定	エ. 婚外子の「認知」
オ. 相続人の廃除	
カ. 「遺贈」による財産の分割（法廷相続人以外の者）など	

当JAでは「暮らしに役立つ勉強会」により、相続税・贈与税関係の様々な情報をお届けする事により組合員の皆様のお役に立てればと考えております。また、JAさっぽろ金融部遺言信託課では組合員の皆様の遺言書作成のサポートを行っておりますのでお気軽にご相談下さい。

「JAグループ北海道改革プラン」の説明会を開催



8月6日(水)、琴似支店会議室において、系統各連合会支所長出席の下、北海道中央会が主体となり「JAグループ北海道改革プラン」組織討議資料の説明会を開催し、役職員44名が参加しました。

説明会では、6月24日政府が閣議決定した「規制改革実施計画」で農協系統組織に自己改革を求めている内容をはじめ、7月に開催された地方説明会で受けた説明内容を踏まえて、JAグループ北海道によって取りまとめられた「JAグループ北海道改革プラン(たたき台)」の説明および今後のスケジュール説明等が行なわれました。参加者からは、特に事業別の方向性に関する部分で、多くの意見や要望が出されました。

今月6日(火)までには、組合員の皆さんを対象とした説明会も既に終了しており、JAグループ北海道としてのプラン策定も最終段階に入っています。

プランの概要とスケジュール

I. 多様な価値観に応える北海道農業

1. さらに儲かる農業の実現
収益向上の取り組み、コスト削減の取り組み、スペシャリストの育成・配置
2. 担い手を育みサポートする仕組みづくり
担い手の確保・育成、組合員の経営サポート
3. 発進!新時代の北海道農業
6次産業化の推進、道産農畜産物の海外への発信、農業の魅力発信

II. 時代に即した協同組合への改革

1. 協同組合の未来方向
～選ばれ、ともに歩むJAへ～

JAは、組合員の自立(自由意思と選択)を前提とし、様々な世代の多様なニーズを持った組合員から選ばれ、組合員、役職員がそれぞれの使命と役割を認識のうえ、ともに歩むJAづくりを進めます。

総合相談窓口機能の発揮、地域社会への貢献、協同活動への理解、事業別の方向性



伝

言

板

カルチャーナイトで

札幌市内農産物をPR



7月18日(金)、JA北農ビル1階のフロアーにおいて“カルチャーナイト”が開催され、当JAでは午後5時30分から各地区の主要品目を中心に札幌市内農産物の販売とPRを行ないました。カルチャーナイトとは、札幌市内の文化施設や公共施設が1年に1度だけ夜間開放されて市民が札幌の街の文化を楽しむイベントのことで、当日は食料・農業・健康に関する展示や体験コーナーなどの多数のブースが設置されました。

中央支店4年連続!手稲・月寒から初受賞 平成25年度JA共済優績表彰

平成25年度JA共済優績ライフアドバイザー全国表彰式および全道表彰式(全道LA・スマサポ大会)がそれぞれ東京ホテルニューオータニと共済ホールにて開催され、5名の渉外担当者(LA)と2名の窓口担当者(スマサポ)が表彰を受けました。

同式は、全国JA共済連が例年開催しているもので、全国・全道各JAの毎事業年度における共済推進活動において、顕著な成績を挙げたライフアドバイザー個人の栄誉を称え表彰するものです。全道表彰を受賞した7名の内4名のLAは中央支店の職員で、支店としては4年連続受賞という好成績を修めたとともに、女性LAの2名においては全国表彰2年連続受賞するという快挙を成し遂げました。

組合員・利用者皆さまのご愛顧により、このような貴重な賞をいただいたことに心から感謝申し上げ、引き続き、今後も組合員・利用者の立場に立ったきめ細やかな訪問活動の実践に精進してまいります。



▲初受賞となった神馬職員、相座職員、羽場職員、川畑職員。

◆受賞者 ※順不同

LA(渉外担当者)の部

- 神馬光徳 (手稲支店)
- 相座広明 (中央支店)
- 萩中伸匡 (中央支店)
- 林 里香 (中央支店)
- 田中沙織 (中央支店)

スマサポ(窓口担当者)の部

- 川畑かほり (月寒支店)
- 羽場絵里 (手稲支店)

◆第四回定例理事会

平成二十六年七月三十一日（木）、午後二時より本店役員会議室において第四回定例理事会が開催された。

●委員会等報告事項

一、経済・相談委員会報告

同日開催した経済・相談委員会において、農業基盤整備事業（暗渠排水整備）の取組みおよび進め方、平成二十五年度共計玉葱最終精算内容、農地中間管理事業の実施内容が報告され了承した事、並びにジャガイモシストセンチュウの新たな発生箇所が確認された事が報告された。

●協議事項

一、平成二十五年度決算版ディスクロージャー誌について

記載内容が説明され、可決決定。

尚、決算から四ヶ月以内の開示が義務付けられている事、更には七月末までに当組合ホームページで開示すること、また、冊子は八月六日に支店到着の予定であることが補足された。

二、組合員規程の一部改正について

組合員へ対する慶弔見舞の内容および金額を具体的に定める事による改正である事が説

明され、可決決定。

三、農業基盤整備事業（暗渠排水整備）について

農林水産省の補助事業を活用して実施する一連の業務内容および設計・施工業者の決定について説明され、可決決定。

（経済・相談委員会協議案件）

●報告事項

一、内部監査結果報告

二、JA経営状況に関する事項の報告について

三、平成二十六年上期地区別懇談会の広報誌掲載について

四、平成二十六年度第1四半期余裕金等運用実績報告

五、平成二十六年度第2四半期余裕金運用方針について

六、総体的なリスク量の報告について

七、リスクの量的管理報告

八、平成二十五年度共計玉葱最終精算について

九、農地中間管理事業の実施について

十、六月末財務状況報告

十一、六月末組合員加入・脱退状況および未

済持分譲渡報告

十二、七月の動静と八月の予定について

十三、旧新川支店建物の賃貸について

十四、札幌協同振興(株)の第1四半期実績報告

（閉会：午後四時〇分）

JAさっぽろDATA

（平成26年7月末業務実績） （平成26年6月末業務実績）

組合員数	正組合員	4,056名	正組合員	4,053名
	准組合員	23,875名	准組合員	23,587名
	合計	27,931名	合計	27,640名
出資金残高	47億3千3百万円		46億5千9百万円	
販売取扱高	5億6千万円		2億7千8百万円	
購買供給高	4億3千2百万円		3億3千1百万円	
貯金残高	2,595億9千8百万円		2,603億8千1百万円	
融資残高	906億7千万円		913億8千5百万円	
共済保有高	6,079億5千万円		6,093億1千6百万円	
施設建設取扱高	3千2百万円		3千2百万円	
管理受託戸数	4,102戸		4,117戸	

※ 出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

おくやみ

下記の正組合員の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

（7月16日～8月15日）

支店名	氏名	享年	月日
菊水元町	米澤良雄さん	91才	8 / 13
南	高柳省三さん	78才	7 / 25
平岸	重延ミヨノさん	103才	7 / 28
東白石	八十島一夫さん	85才	7 / 31
手稲	土田永政さん	95才	8 / 11
月寒	中川シゲ子さん	88才	8 / 14
北札幌	岩波凡人さん	90才	7 / 21
篠路	忠海 瑛さん	85才	7 / 26
	松岡 明さん	90才	7 / 27
丘珠	富樫 博さん	95才	7 / 24
	後藤 努さん	83才	8 / 13

2014

虹の大樹

NO.195

虹の大樹 ● 9月号
平成26年9月10日 ● SEPTEMBER 2014
編集・発行／札幌市農業協同組合
〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目1番10号 TEL011-621-1311
ホームページ <http://www.ja-sapporo.or.jp/> Eメール kouhou@ja-sapporo.or.jp



あなたの自慢 教えてください



所属している野球チームで
ピッチャーで4番バッターを
務めている孫。

毎週末になると練習や地方への
遠征で大忙しなのですが
このまま頑張っていって欲しいと
思っています。

◆みなさまの自慢を教えてください◆

小さいお子さんやお孫さん、新婚さん、ペット、
料理、新たに家業を継いだ方、家宝など、
自慢のものを大募集!

お近くの各支店または本店 広報課まで、
お気軽にお声かけ下さい。

裏表紙のタイトルは、
きゅうりやトマトなどに一般的に殺菌剤で使われている
「ジマンダイセン」をアレンジしたタイトルです。